4.5.　ファイルの内容を閲覧する -cat,less コマンド-

ファイルを読むためには、

・ 短いファイルは cat で
・ 長いファイルは less で
・ マークアップテキスト（html 等）に対応したブラウザなら Firefox や Chrome で参照する

など、使い分けが必要です。管理する際に重要な設定ファイルの大半はテキストで書かれているため、単純に読むだけであれば cat や less で十分です。

cat は concatenate（意：連結する）の略で、本来は２つ以上のファイルを連結するコマンドです。ファイルを１つだけ指定することで、ファイルの内容を閲覧するために用いられます。

less は一度に１ページずつ（１画面ずつ）情報をスクロールして表示することができるコマンドです。もともと more というコマンドがありましたが more よりさらに便利だから less という洒落になっています。

では実際に cat を使ってみましょう。cat コマンドは引数として読みたいファイルへのパスを指定します。

```
$ cat /etc/redhat-release
Scientific Linux release 6.1 (Carbon)
```

“/etc/redhat-release”は、ディストリビューションの名前とバージョンを入れているだけのファイルです。このようにテキストが短い分には cat で十分ですが、テキストが長くなるとスクロールしてしまいます。そのような場合には less を使うといいでしょう。

less での表示中は、マウスでウィンドウをスクロールしてはいけません（less を使った意味がないため）。カーソルの上下左右またはスペースキー、Ｂキーで移動し、小文字のｑで終了します。

less コマンドにはたくさんの機能があります。覚えておくと便利なキー操作をいくつか挙げておきます。

```
$ less /etc/services
# /etc/services:
～～～～～～～～～～～～～～～～（省略）～～～～～～～～～～～～～～～～
```

Space　１画面下にスクロール
b　１画面上にスクロール
<　ファイルの先頭に移動
>　ファイルの末尾に移動
/文字列　下方向に文字列を検索
?文字列　上方向に文字列を検索
h　使い方の説明
q　終了